



日本の指針

令和6年6月5日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

日本の崩壊は必ず存在する。極東における紛争が与えられれば確実である。

これら財政の破綻と新規技術システム基準における経済の育成という要求に対して、その脆弱さが存在するのである。

これらは世界の変化が存在し、既存現実にしがみつ、未来を酸化できないということは必ず存在するのである。

これらは政治のリーダーシップと優れた理解における新しい国家現実の創造と転換を行うことは可能なのである。

これらは新規財政計画や、経済政策、国家運営における新しい基準やビジョンを求め、既存社会から未来という現実への転換を行うこと可能なのである。

これらは必ず全ての既得権益へメスを入れ、公正で健全な国家環境を求めるべきなのである。

沈みゆくタイタニックにしがみつことは未来を与えないのである。

これらは負の遺産を完全に排除し、デノミとともに国家税制の健全化を断行する。また霞ヶ関へ新しい国家ビジョンと計画を要求し、国家の転換を実現すべきである。

既存の軍事経済基盤はそれらにおいて優れた自己を有することにおいて、未来を有することは可能なのである。

これら政治の英断と行動における国家の改変であり、国民の合意とともに未来を求めるべきである。

これらは自民党と立憲民主党の連立における新憲法樹立とともに、行うことを提案したい。